

# 「渡里直売所の謎を探る」

## 目立つ看板も出ていないのに、“新鮮・安全・安心”で大人気の、「渡里地区直売所」



◆開店と共に押しかける買い物客！



◆お盆には切花が飛ぶように売れる！



◆農家のお孫さんも応援に駆けつけた

### \* <<「渡里直売所・5つの謎(課題)」を、解いていく>>

#### ★①「“看板も出ていないのに年商2億円突破”の謎！」

すべては“口コミ”。「朝採りで新鮮！」「おいしいのよ、直売所の野菜は！」と、リピーターが続出。売り上げをどんどん伸ばした。ここの直売所の野菜は、質がいいからねえ、との声が多数。

#### ★②「“これからは直売所だ！”と、JA水戸管内“直売所・第一号店”創設となった謎！」

直売所創設の前に“渡里土曜朝市”あり！ 大好評だった“渡里土曜朝市”10年の実績。それに自信と手応えを感じて、渡里・飯富・国田・柳河の4地区が連合。直売所創設に漕ぎ付けた。みんなできれば出来る！ 農協の合併がプラスに働いた。

#### ★③「“ゆずドリンク”・“ゆずジャム”・“ユズじえらあと”、ユズ加工品の謎！」

直売所の棚に、“ゆずドリンク”・“ゆずジャム”・“ユズじえらあと”を発見。1学期に、アゲハの食草として親しんだユズの樹。渡里小の隣には“ユズの樹広場”まである！ 渡里はユズの産地なの？ 調査の結果、ゆず製品は全部、城里町の桂加工所の製品と判明。渡里地区周辺はユズ栽培に適しているらしいな(=アゲハ天国?)。

#### ★④「8月末に“青ユズ”(3個100円)出品の謎！」

8月末には“青ユズ”が初入荷。サンマの季節だものなあ。シールを頼りに、農家を訪ねてみると、庭先にたった1本のユズの樹。たった1本のユズの樹でも、ちゃあんと商品になるんだあ！

#### ★⑤「“シールに名前”、自信と誇りを持った農家続出の謎！」

朝7時半からの出荷風景。そこでの主役は、60代70代のおばあちゃんたち。その元気なこと元気なこと。「4時起きで採って来たんだもの、新鮮だよ～(笑)」「みんなで競争(笑)」「ここでみんなと会っておしゃべりする、それが楽しいんだよ～！(笑)」「お客さんはね、“シールの名前”を見て買ってくれるの、嬉しいよね」ー。



「商品ごとに消毒の記録があるよ！」



「値段は農家が自分で決めるんだあ！」



絵画《おいしいな！“直売所の夏野菜”》

### \* <<“小さな力”を“大きく生かす”～「渡里直売所」は、出会いを生み出す、ワンダーランド>>

農業ってカッコいい！ ジッチャン・バッチャンが、みんな元気！ 市場で相手にされない“小さな畑”・“小さなハウス”でも、直売所があれば、立派な商品になる！ しかも、値段は自分で決められる！ もっともっと売れる野菜を作らなくちゃ！ 手応えがあるから、やる気が出る！ スゴイな、渡里のお年寄りは！！